

# アルゴリズム勉強会 セグメントツリー編

# 突然ですが問題です

## 問題文

長さ  $N$  の数列  $A = (A_1, A_2, \dots, A_N)$  があり、最初はすべての要素が  $0$  になっています。以下の 2 種類のクエリを処理してください。

- クエリ 1:  $A_{\text{pos}}$  の値を  $x$  に更新する。 (一点更新)
- クエリ 2:  $A_l, A_{l+1}, \dots, A_{r-1}$  の最大値を答える。(区間取得)

ただし、与えられるクエリ数は全部で  $Q$  個とします。

## 制約

- 入力はすべて整数である
- $1 \leq N \leq 100000$
- $1 \leq Q \leq 100000$

A58 - RMQ (Range Maximum Queries)

[https://atcoder.jp/contests/tessoku-book/tasks/tessoku\\_book\\_bf](https://atcoder.jp/contests/tessoku-book/tasks/tessoku_book_bf)

## 入力例 1

Copy

```
8 4
1 3 16
2 4 7
1 5 13
2 4 7
```

要素列長:8、クエリ数:4

クエリ(先頭の要素が1なら更新、2なら取得)

- 1 3 16 : 3番目の要素を16に変更する
- 2 4 7 : 4-6番目の要素の最大値を出力する

## 出力例 1

Copy

```
0
13
```

- はじめ、 $A = (0, 0, 0, 0, 0, 0, 0, 0)$  です。
- 1 個目のクエリでは、 $A_3$  の値を 16 に更新します。 $A = (0, 0, 16, 0, 0, 0, 0, 0)$  となります。
- 2 個目のクエリでは、 $(A_4, A_5, A_6) = (0, 0, 0)$  の最大値 0 を出力します。
- 3 個目のクエリでは、 $A_5$  の値を 13 に更新します。 $A = (0, 0, 16, 0, 13, 0, 0, 0)$  となります。
- 4 個目のクエリでは、 $(A_4, A_5, A_6) = (0, 13, 0)$  の最大値 13 を出力します。

# 愚直な実装例

僕「普通に一点更新して、普通に区間取得すればええやん」

↓自分がテキトーに作ったクソコード

```
N, Q = map(int, input().split())
Query = [list(map(int, input().split())) for _ in range(Q)]
lst = [0]*N

for x,y,z in Query:
    if x == 1:
        lst[y-1] = z
    elif x == 2:
        print(max(lst[y-1:z-1]))
```

クエリ(先頭の要素が1なら更新、2なら取得)

- 1 3 16 : 3番目の要素を16に変更する
- 2 4 7 : 4-6番目の要素の最大値を出力する

# 愚直な実装例: 結果

## ジャッジ結果

セット名	Sample	All
得点 / 配点	0 / 0	0 / 1000
結果	<span>AC</span> × 1	<span>AC</span> × 16 <span>TLE</span> × 3

## TLE (Time Limit Exceeded)

指定された実行時間以内にプログラムが終了しなかった

# 愚直な実装例:原因

愚直な実装:1クエリごとに一点更新 $O(1)$ 、区間取得 $O(N)$

forループで $O(Q)$  →

max関数で $O(N)$  →

```
N, Q = map(int, input().split())
Query = [list(map(int, input().split())) for _ in range(Q)]
lst = [0]*N

for x,y,z in Query:
    if x == 1:
        lst[y-1] = z
    elif x == 2:
        print(max(lst[y-1:z-1]))
```

このプログラムの区間取得にかかる計算量は $O(QN)$ となる。

制約として  $0 \leq N, Q \leq 10^5$  が与えられているため、最大  $10^{10}$  もの計算が必要  
1秒間に処理できる計算は  $10^7 \sim 10^8$  であるので、計算が間に合わないのも当然

# なら、どうするか？

→ セグメントツリーを使う

## セグメントツリー

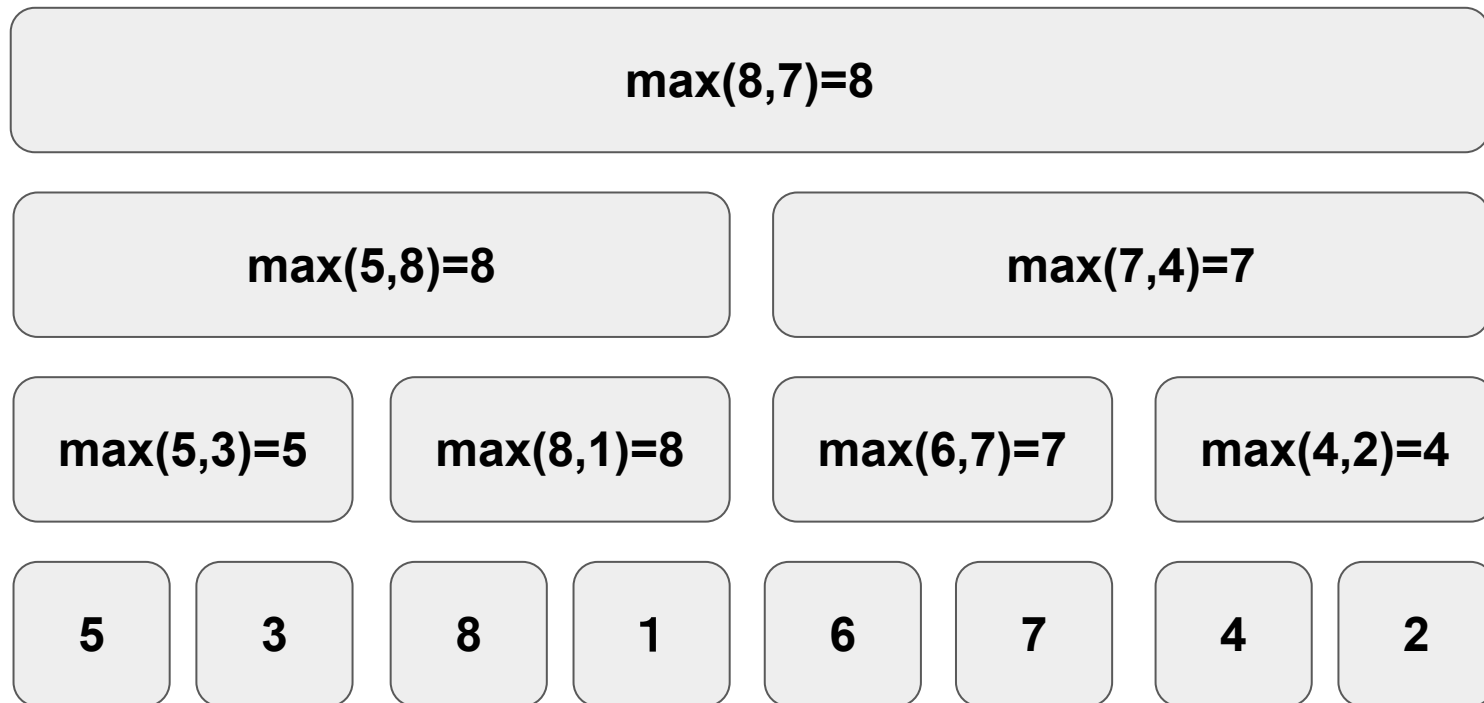
完全二分木で実装された、区間処理に適したデータ構造。具体的には以下の通り

- 配列の一要素を更新  $O(\log N)$
- 任意区間内の要素に関する特定の演算（総和、最大値、最小値等）  $O(\log N)$

そのため、複数の更新・演算クエリをこなす場合に向いている

## セグメントツリー:仕組み

[5, 3, 8, 1, 6, 7, 4, 2]について以下の木構造を考える





[1, 6, 7, 4, 2]で最大値をとることを考える場合(区間取得)  
以下の水色部分のmaxを取るだけで良い

$$\max(8, 7) = 8$$

$$\max(5, 8) = 8$$

$$\max(7, 4) = 7$$

$$\max(5, 3) = 5$$

$$\max(8, 1) = 8$$

$$\max(6, 7) = 7$$

$$\max(4, 2) = 4$$

5

3

8

1

6

7

4

2

1を9に変更する場合(一点変更)  
以下の黄色の部分を更新すれば良い

$$\max(9,7)=9$$

$$\max(5,9)=9$$

$$\max(7,4)=7$$

$$\max(5,3)=5$$

$$\max(8,9)=9$$

$$\max(6,7)=7$$

$$\max(4,2)=4$$

5

3

8

9

6

7

4

2

前2つのスライドから

愚直な実装: 1クエリごとに一点更新 $O(1)$  区間取得 $O(N)$

セグ木実装: 1クエリごとに一点更新  $O(\log N)$  区間取得  $O(\log N)$

であることが分かる

$$\max(8,7)=8$$

$$\max(5,8)=8$$

$$\max(7,4)=7$$

$$\max(5,3)=5$$

$$\max(8,1)=8$$

$$\max(6,7)=7$$

$$\max(4,2)=4$$

5

3

8

1

6

7

4

2

# セグメントツリー:実装

```
          tree[1]
        tree[2] tree[3]
      tree[4] tree[5] tree[6] tree[7]
```

実装の際は、セグメント木は $2*N$ のリストによって管理される。

index = 0 は使用しない, 全要素の積はtree[1]に入っている。

子は $2*i$ と $2*i+1$ 、親は $i >> 1$ で参照することができる。

葉部分に配列の値をセットし、関数を適用しながら木を構築。更新時は葉部分から上方向に更新する。

タスクに応じて(初期値と)関数と単位元を設定する必要がある

※今回は最大値問題であったが、その他の演算でもセグ木は活用できる  
(詳しい話は「モノイド」あたりでググってください)

# セグメントツリー: 提出・結果

## ジャッジ結果

セット名	Sample	All
得点 / 配点	0 / 0	1000 / 1000
結果	AC × 1	AC × 19

愚直な実装: 1クエリごとに一点更新 $O(1)$  区間取得 $O(N)$

セグ木実装: 1クエリごとに一点更新 $O(\log N)$  区間取得 $O(\log N)$

全体の計算量は $O(QN) \rightarrow O(Q\log N)$ に抑えられた！

無事、TLEの壁を乗り越えAC(Accept) 🏆

## 制約

- 入力はすべて整数である
- $1 \leq N \leq 100000$
- $1 \leq Q \leq 100000$

## (補足)遅延セグメントツリー

セグメントツリーは一点更新と区間取得が $O(\log N)$ で可能。

当然の疑問: **区間更新も  $O(\log N)$ で出来ないのか?**

→ 遅延セグメントツリーという構造を用いる

(遅延配列の導入が必要になる、複雑になるのでここでは割愛)

(参考)

<https://smijake3.hatenablog.com/entry/2018/11/03/100133>

# まとめ

セグメントツリーとは？

完全二分木で実装された、区間処理に適したデータ構造。

- 配列の一要素を更新  $O(\log N)$
- 任意区間内の要素に関する特定の演算（総和、最大値、最小値等）  $O(\log N)$

一点（区間）更新と区間取得のクエリが大量に飛んでくるケースに向いている